

ラグビー部

校技として全校生徒の憧憬の的であつたラグビー部光輝ある戦績は校運の隆昌と運命を共にすべく宿命づけられしラグビー部を我等の代に至りて榮譽に傷つけ先輩の顔に泥を塗つてしまつた。諸君よ許せ!!さらば敗軍の將は兵を語らずと云ふことがあるが其の例に反し身から出た錆とは申せ斷腸の思ひで進まぬペンを引きずり／＼戦果を記さん、先づ最初の戦は春風和やかな而も前部長戸島先生の在し日であらゆる、方面のナンバーワン(?)と對戦した。

岩 中 9 3.6 對 3.3 6 醫 專

此の一戦を見て居られた先生は安心して應召された。

醫專との第二回戦はグラウンドのじめした日であつた悪天候續きの上色々の行事の爲に一週間も練習せずにあつた上朝の四時に起

きて戸島先生を見送りし引き續き護國神社の式典に參列し朝食も取らずに午前中走つて居たので皆な疲れ切つて居たそこで試合時間を二十分づゝにしてくれと要求するとスケジュールを組んでゐたのだからと云つて聞入れなかつた、そこで餘程試合を中止する氣になつたが應援團にすまぬと思つて戦つた。

岩 中 3 前半 3 對 6 3 9 醫 專 後半 0

例年來る土崎軍も秋田工業を6對3で破つた勢に乗じて醫專と對抗し18對0で輕く破り續いて第二軍と本校との對戦を展開した其の結果。

岩 中 6 前半 3 對 9 3 9 土 崎 後半 3

齡と體力と經驗だけの差で敗北した。

此の戦を以て盛中との春の試合をせずに一學期の試合の幕を閉じた。

夏休には炎天下に酷熱と戦ひながら横專の主將中村さん又翌年主將になつた菅野さん又其の翌年の主將に約束されてゐる藤田さんなどの名コーチの下に汗身泥になつて猛練習をした。

愈々秋のスポーツシーズンに入り第一回目に盛中と春にしなかつた代りの所謂代用品をやつた。

岩 中 6 3 對 6 3 9 盛 中

遂に惨めな敗れ方をしてしまつた。

今年誕生した奥羽電燈株式會社のラグビー部は先輩藤村兄の手引もあり第一回の戦ひを我が部に求めて來た。

此の戦は彼等が試合と云ふものは如何なるものであらうかと云ふ事を知る爲の戦なので勿論我等の全力を盡した譯ではない反つて敗け様と努力した位だ然し侮るべからず彼等が技術と戦方に少しの進歩があつたなら醫專などは足下にも寄り付けなくなるだらう。

全國ラグビーの東北豫選で今年こそ梅檀を破つて長年の恨を雪いでくれんと手ぐすね引いてゐた所が焉ぞ知ら一步手前の盛中との戦ひで。

岩 中 3 前半 0 對 0 3 3 盛 中 後半 3

なるが延長戦に至り遂に破れてしまつた。

第二回目の奥羽電燈との對戦で彼等は素

晴しい發展振りを示したが未だお尻の青味が十分取れ切らなかつた。

愈々醫專主催のカップ取りで我々は復讐に燃え火玉となつて頑張つたが

岩 中 3 前半 0 對 0 3 3 盛 中 後半 3

遂に好敵に一矢も命で得ずして本年度の試合の幕が閉じられてしまつた。

嗚呼!!だが恨まないでくれ我々は岩中ラグビーとして恥しくないだけの行動をして來た積りだ、又來年は必ず仇を報いてくれると確信する。見てくれあの吹雪の中を雪達磨の様になつて血身泥の練習を續けてゐるあの神々しい姿を!!。

臥薪嘗膽そのものではないか、而して後輩諸君よ不甲斐なかつた我等の罪を赦してくれ。

猶メンバーは左の如くであつた。

(進) 村橋 木田 子 谷 井島 花田 内島 澤 越

瀧 高 佐 高 金 原 熊 寺 河 竹 武 栃 小 小 川

H.W

T.B

H.B

F.B